

ひろ
報

しもつま

Shimotsuma



7
2006
No.603

生活環境の整備の充実

人と自然が手をつなぐ
まちをめざして



地球環境に配慮しながら、快適で利便性の高い都市生活の実現をめざし、人と自然が共生するまちづくりを進めます。

- 主な新規事業・内容の充実
- 自主防災組織の充実
- 防犯パトロールの充実
- 地域防災計画策定事業
- 国民保護計画策定事業

保健・医療・福祉の充実

人とひととが手をつなぐ
やさしさのあるまちをめざして



すべての人が、健康で明るく元気に住み続けたいと思うようなまちづくりをめざします。そのために、やさしさやふれあいを大切にしながら、地域福祉社会づくりを進めるとともに、保健・医療・福祉の連携を密にした効率的・総合的なサービス提供の体制確立に努めます。

- 主な新規事業・内容の充実
- ひとりぐらし愛の定期便事業
- 学童保育事業の拡充
- 延長保育の拡充と障害児保育
- 児童手当の拡大

- 自動除細動器の導入(保健センター)
- 障害者自立支援事業
- 障害福祉計画策定事業
- 難病患者福祉手当の充実

教育・文化の振興

心豊かな人を育むまちをめざして

国際化、情報化、高齢化の激しい社会の中で、将来に大きな夢を持ち希望に満ちた社会を実現するためには、「人材の育成」が最も重要です。そのためには、21世紀をたくましく生きる豊かな個性と能力を持った青少年を心身ともに健全に育成することが求められていますので、さまざまな分野で取り組んでいきます。



- 主な新規事業・内容の充実
- 児童・生徒安全対策事業
- 自動除細動器の導入(中学校3校)
- 適応指導教室の充実
- 学力向上対策事業
- 小・中学校インターネット及びパソコンの活用・充実
- 義務教育施設整備基金積立
- 社会科副読本改訂事業
- ふるさと博物館常設展示場改造事業

都市基盤整備の促進

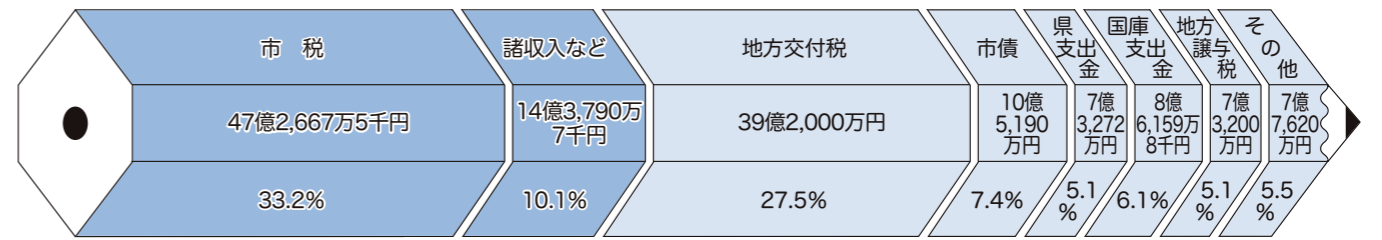
ときめきのあるまちをめざして

つくばエクスプレスの開業、常総線の快速運行等、本市を取り巻く交通環境は大きく様変わりしました。このような中で、豊富な自然環境を生かし、「歴史や文化の趣を持ったまちづくり」や都市機能が集積し、個性的な景観が形成される「機能的で現代的なまちづくり」を進めることは、市の活力を生み出す上でも必要となります。そのため、中心市街地の活性化を図り、周辺部の合理的な土地利用を進め、各地域にふさわしい生活拠点の形成に努めます。



- 主な新規事業・内容の充実
- 宗道地区まちづくり交付金事業
- やすらぎの里整備事業
- 都市計画図作成事業
- 市道207号線道路改良事業

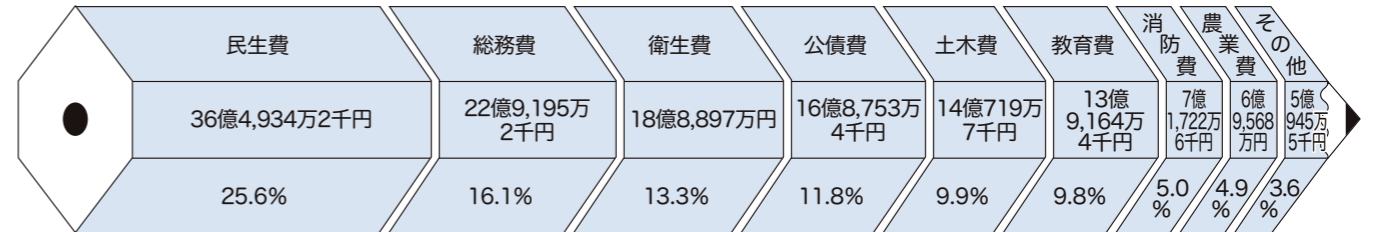
一般会計



歳入 合計 142億3,900万円

■ 自主財源 ■ 依存財源

歳出 合計 142億3,900万円



下妻市の財政健全化
財政の現状

近年の地方財政は、長期にわたる景気の低迷による税収の落ち込みに加え、少子・高齢化の進展による行政需要の増大や累積した公債費の償還が重なって、大幅な財源不足に陥っています。

当市でも例外ではなく、個人所得を中心に税収好転の兆しが見えるものの、地価は低迷したままで、歳入面で非常に厳しい状況が続いています。また歳出面でも、経常経費削減への取り組みは一定の成果を収めているもの

の、増加傾向の続く社会保障費や市債残高の償還にかかる負担は依然大きく、こうした状況はしばらく続くものと予想されています。

さらに今後は、国の三位一体の改革の影響で、国庫補助金や地方交付税の減収が見込まれ、市の財政運営はますます厳しさを増してくるものと思われま

このような中で、将来にわたって健全財政を維持しながら、多様化・高度化する市民の財政需要にこたえていくために、市には時代の変化に適切に対応できる財政体質の構築が求められています。当市でも、現在行財政改革に向けた取り組みをおこなっております。

平成18年度下妻市予算(当初)

区分	今年度予算額	前年度予算額	増減率%	
一般会計(1)	142億3,900万円	143億2,100万円	△0.57	
特別会計	国民健康保険	51億3,400万円	48億6,190万2千円	5.60
	老人保健	42億5,900万円	40億1,991万7千円	5.95
	介護保険	22億7,400万円	22億4,674万1千円	1.21
	下水道事業	8億1,900万円	9億3,212万4千円	△12.14
	土地区画整理	1億1,900万円	1億5,000万円	△20.67
	砂沼荘	0	2,180万円	△100.00
計	公共用地先行取得	0	6,322万9千円	△100.00
	計(2)	126億500万円	122億9,571万3千円	2.52
水道事業会計(3)	23億3,553万8千円	27億4,310万円	△14.86	
合計(1)+(2)+(3)	291億7,953万8千円	293億5,981万3千円	△0.61	

※前年度予算額は、旧千代川村を含む金額です。

信頼と実行のまちづくり



平成18年度は、合併初年度の重要な年となり、総合計画をはじめ、男女共同参画推進プラン、財政健全化計画等、新市の均衡ある発展に向けた諸計画の策定年度となり、市民の意見を反映した市民との協働による計画書作りを進めます。

- 主な新規事業・内容の充実
- 広域学校給食施設の運営
- 総合計画策定事業
- 地域集会所整備事業
- 財政健全化計画策定事業
- 自治総合センターコミュニケーション助成事業
- 地域振興基金造成事業

下妻市の一般会計を家計簿に例えると

ボーナスダウンで預金解約

下妻市家の家族構成 6人

- おじいちゃん
- おばあちゃん
- お父さん(世帯主)
- おかあさん
- お兄ちゃん
- お姉ちゃん

お兄ちゃんの学習塾の月謝

定期預金解約

家のローン返済

家のリフォーム

下妻市家

収入見込み	630万円
リフォームローン	52万円
定期預金解約	20万円



下妻市家の平成18年度の収入見込みは、お父さんの基本給(市税)が265万円、昨年よりは、ちよつぱり増えました。ボーナス・諸手当(地方交付税)は193万円(年々減っています)。その他におじい



- 主な新規事業・内容の充実
- 農村総合整備事業
- 新田園空間創造地域型整備事業
- 商店街共同施設整備補助事業

人が交流する活力あるふれあいのまちをめざして

農業・工業・商業のバランスがとれ、市民が安心して就業できる環境整備や活力ある産業を育成していくことは行政の責務です。これまで「つくば市下妻第二工業団地」「ニューつくば下妻工業団地」への優良企業の誘致に努めてきましたが、これからも、企業の立地動向を見極めながら、積極的に推進します。また、平成22年度までに「米づくりの本来あるべき姿」を実現すべく、需給調整、流通・構造・経営、生産対策の改革をパッケージで進めるため、平成16年度よりスタートしました水田農業構造改革対策事業として、市独自の補助事業の産地づくり対策助成金のほか、条件整備特別対策事業、ブロックローテーション定着化促進事業補助金、水田農業推進センター補助金等を引き続き実施いたします。千代川地区では平成12年度より進めております農村総合整備事業により原地区などの農業排水や鯨地区の集落排水を実施します。いばらきの園芸産地改革支援事業を引き続き実施し、梨選果作業の効率化を図るため、下妻梨第二共同選果場選果機入れ替えの補助を平成17年度に引き続き市単独事業で実施します。

小倉市政の更なる躍進をめざします

就任のあいさつ

下妻市助役 稲葉本治



6月19日の市議会でご同意を得まして、助役という大任を拝命いたしました。

責任の重さと慣れぬ仕事への不安、緊張が入り混じった複雑な心境にありますが、任を得た以上、微力ではありますが、新市下妻市のため精一杯がんばってみたいと考えております。さて、新市としてスタートして早や半年が過ぎました。比較的スムーズな合併でよかったと思っておりますが、まだまだ慣習とシステム等の違い

さきの、第2回市議会定例会において、助役選任の同意がされました。5月31日付で退職した横瀬靖彦前助役の後任に稲葉本治前参与が就任しました。横瀬前助役のこれまでのご尽力に感謝するとともに、稲葉新助役をどうぞよろしく申し上げます。

によるボタンの掛け違いや言葉の足りなさ等からくる不満、感情のもつれ等、市政に対する苦言を聞くことが多々あります。完全に理解されるまでには、少し時間がかかりそうですが、合併が目先の問題だけでなく、子々孫々のために安心して暮らせる郷土づくりという視点があることをご理解いただき、新市民としての一体感が少しでも早く醸成できますよう努力していきたいと思っております。

また、これからの行政に求められるものは、市民の声が反映され、これに素早く対応する行政ではないかと考えております。厳しい財政状況下ではありますが、市民の皆様と行政が一体となって、活力のあるまちづくりに取り組むための新しいなごりがあります。小倉市政を最大限補佐しながらがんばってまいります。これからも行き届かない点多々あると思いますが、皆様のご厚情とご指導をお願い申し上げます。就任のあいさつといたします。

監査委員に渡邊俊一さん(下妻J)が選任されました



第2回市議会定例会において、渡邊俊一さんが監査委員に再任されました。任期は、平成18年6月19日から22年6月18日までの4年間です。

監査委員は、公正、不偏な立場で、市関係機関の財務に関する事務(収入、支出、契約、現金等の出納保管、財産管理など)の執行や経営に係る事業(公営企業など)の管理が関係法令等に基づいて適正におこなわれているか、また、効率的、合理的、能率的におこなわれているかを監査しています。

さん・おばあちゃんから生活費として79万円(国・県支出金)、お母さんのパート収入(使用料・雑入など)が93万円、合計で630万円です。これに対して支出見込みは、教育費が69万円。お兄ちゃんの学習塾の授業料や光熱費・通信料(新聞代)など(経常経費)おじいちゃんのパソコン教室(社会教育)に加えて、お姉ちゃんのスイミングスクール(保健体育費)の月謝の支払いがあります。お姉ちゃんの保育料やおばあちゃんへの介護サービス利用料(介護特会繰出金)、医療保険の支払い等(国保・老保特会繰出金)で180万円、ごみの処分(清掃費)や予防接種・健康診断(保健衛生費)で93万円、もう大変です。家のローン(公債費)83万円も払わなければなりません。お母さんは生活費(総務費)を切りつめましたが、113万円が必要でした。古くなったキッチンのリフォーム(土木費)したら69万円、合計で702万円となりました。このため、リフォームローン(市債)52万円を申し込みましたが、それでも足りなくて、定期預金(基金)20万円を解約しました。下妻市家のお母さんは、やり繰りが大変です。なんとか、家計簿の収支が合いました。

急速に少子・高齢化が進む日本。2015年には4人に1人が65歳以上といった超高齢社会を迎えようとしています。下妻市でも65歳以上の人口割合が20パーセントを超えました。生涯現役でだれもがいきいきと豊かな人生を送ることができるとは、私たちの願いです。今回の特集では、高齢者のみなさんが地域社会の一員として、これまでの経験や技能を活かしながら健康で生きがいを持って活躍することのできるシルバー人材センターについて紹介します。

急速な高齢化によって つくられた就業のシステム

日本人の平均寿命は男女ともに世界一です。また今後は、戦後のベビーブームのときに生まれた世代がシルバー世代を迎え、高齢者の就業が問題となってきました。高齢者のみなさんが安心して、生きがいをもって生活を送るために、豊富な知識と経験をうまく活用するシルバー人材センターという就業システムが考えられました。シルバー人材センターでは、高齢者が元気に働くことで、地域社会とのふれあいを高め、豊かな生活を楽しむためのシステムです。



シルバー人材センター

Shilver Humman Resource Center

生涯現役でいきいきと 豊かな高齢社会

楽しみながら地域に貢献 シルバー人材の仕事



幅広く仕事を請け負っています



シルバー人材センターは、60歳以上を対象に「就職」ではなく「就業の機会を提供する」のが目的の「自主・自立、共働・共助」の理念を基本として運営されている県知事認可の公益法人です。市町村や民間企業、一般家庭などから仕事を委託され、会員に仕事を紹介しています。庭木の剪定、駐車場管理などの屋外作業や宛名書き、ふすま・障子張り

まで、幅広く仕事を請け負っています。報酬は「配分金」という形で会員に支払われます。

また、会員のための講習会や料理教室などもあり、会員同士が楽しみながら技能を向上することができま

お引き受けする仕事

- 事務分野
毛筆筆耕・宛名書き・受付業務など
- 管理分野
施設管理・駐車（駐輪）場管理など
- 屋内外の一般作業
草取り・刈払い機による除草・除草剤散布・殺虫剤散布・公園清掃・農作業各種
- 技能を必要とする分野
庭木の手入れ・垣根剪定・ペンキ塗り・ふすま・障子張り・軽易な大工仕事
- 折衝・外交分野
広報紙等の配布・検針・集金など
その他家事援助サービスなど

シルバー人材センターで 第二の人生

定年後も企業の一員として活躍する高齢者もいますが、最近では健康のために楽しみながら仕事をしたい

という高齢者がシルバー人材センターに登録し第二の人生を歩む人が増えています。

吉川正巳さん（長塚）もそのなかのひとりです。吉川さんは退職後、シルバー人材センターに登録し、おもに粗大ごみの収集運搬や除草作業の仕事をしています。「仕事を始めたきっかけは、楽しみながら仕事が続けられると知人から聞いたことです」と話してくれました。会員の声と発注者の声を紹介します。

会員の声



吉川正巳さん
（長塚）

シルバー人材センターに入ってから8年目になります。主に粗大ゴミの収集運搬と草刈等をおこなっておりませんが、毎日が大変充実しております。仕事をすることが体を健康にしてくれているようですし、仕事先での「ご苦労さま」の声がなによりも元気づけられます。

また、懇親会や親睦旅行も楽しみのひとつで、ほとんど参加していますが、会員同士、日頃の疲れも忘れて話が弾むとき、つくづくシルバーに入っていることに幸せを感じま

発注者の声



石崎とみ子さん
（若柳）

各地から、花の便りが聞こえる季節、人工授粉・摘蕾・摘果と、梨農家のいちばん大切な時季、体調を崩した私は、人前では冷静さを装っていても、焦りと戸惑いでいっぱいでした。

そんな時、シルバー人材センターに相談し、梨の手入れ作業をお願いしましたら、快く引き受けてくださいました。過去の不安をよそに、仕事も順調に進み、深く感謝の思いです。いざと言うときの頼れる力強さと、安心感を改めて感謝しました。これもシルバー人材センターのおかげです。感謝しています。

あなたもシルバー人材センターに登録してみませんか

60歳以上で、健康で働く意欲のある方なら、どなたでも会員になれます。

お問い合わせは

（社）下妻地方広域シルバー人材センター ☎44・3198

まちのわだい

市内でおこなわれた各種行事や地域の話など…
みなさんからの情報をお待ちしています。
(秘書課 広報広聴係 内線 1212)



今年もきれいに咲きました。あじさいの花

色とりどりのあじさいに囲まれて

梅雨の中休みとなった6月25日、大宝八幡宮境内で、「あじさいまつり」が開催されました。
この祭りは、大宝花の会と市観光協会の共催のもと、「関東の駅百選」に選ばれている「騰波ノ江駅」から「ピアスパークしもつま」までのコースで、駅からハイキングに合わせておこなわれているものです。
境内のあじさいの花が色とりどりに咲き、県内外から訪れた600名を超えるたくさんのお客さんの心を癒し、関東最古の八幡宮や流鏑馬など歴史と自然に触れ、家族連れで堪能された1日でもありました。「私は、都会に住んでいます、田園風



あじさいの花を見ながら抹茶のおもてなし

景がすばらしく、人情味溢れる下妻市に来てとても感動しました。空気もおいしいし、この土の匂いなんとも言えないですね。今日は、朝早起きした甲斐がありました。私たちが、快く出迎えてくれたスタッフのみなさんに感謝します。とニコニコ。また、下妻市を訪れたみなさんにきれいな花を楽しんでもらおうと、大宝花の会による草花の無料配布などがおこなわれ、また、色とりどりに咲くあじさいの花を見ながらの、野草による抹茶のおもてなしもありました。
下妻市ネットワーク等連絡協議会でも、あじさいまつりに訪れたみなさんに冷たい麦茶をサービスし、小休止した後、足取りも軽やかに最終地点の「ピアスパークしもつま」

猛暑のなか本番さながらの水防訓練

下妻市消防団第2分団・第3分団が出勤



土のう袋を運び出し堤防を守る水防団員（積土のう）

7月2日、台風の影響による集中豪雨に見舞われ、鬼怒川の警戒水位を超えたという想定のもと、鬼怒・小貝水防連合体主催による水防訓練が、八千代町仁江戸地先の鬼怒川河川敷で開催されました。
この訓練は、同連合体を構成する鬼怒・小貝川流域の市町を会場に出水期であるこの時期に毎年開かれているもので、下妻市消防団では、第2分団・第3分団が代表で出場しました。
たくさんの方の消防関係者や来賓の方が見守るなか、午前8時に開始さ

れました。河川管理を担当する県土浦・常総土木事務所職員の指導のもと「竹とげ」「杭ごしらえ」「土のう作り」の基本作業に始まり、堤防にできた亀裂の拡大を防ぐ効果のある「五徳縫い」「や」「折り返し」、川表が崩れるのを防ぐ「木流し」や「むしろ張り」「越水する危険のある箇所」に施す「積土のう」「漏水箇所」の浸透水の圧力を弱める「月の輪」など、水防ならではの技術を修得。
朝から真夏の日差しが照りつけるなか30度を超える暑さとなり、汗だくになっての訓練となりました。
これから台風シーズンがやってきます。下妻市でも鬼怒川・小貝川を抱え、水位の確認を含め堤防の巡視警戒が重要となります。
つねに私たちの生命や財産を守るため一生懸命に訓練に取り組んでいる消防団員のみなさん、ご苦労さまでした。



本部長指令により出勤する水防団員



枝葉の繁った樹木を留め杭に結束（木流し）

です。私たちの家庭も、日頃から災害に対する備えは万全にしておきたいものです。

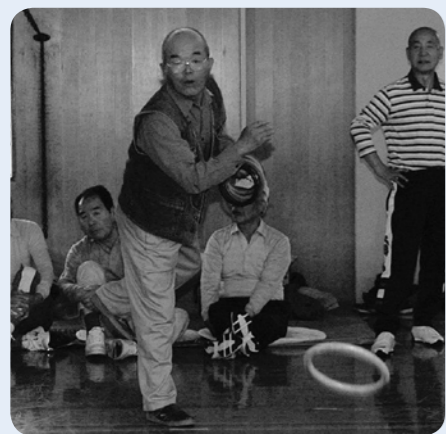
元気ハツラツ輪投げ大会

老人クラブ連合会千代川支部

6月8日、下妻市老人クラブ連合会千代川支部主催による輪投げ大会が千代川体育館でおこなわれました。昨年と同じように約200名のおじいちゃん・おばあちゃんが参加し「ソレー！」という掛け声が、館内いっぱい響き渡っていました。
「この日のために一生懸命練習してきましたが、市内の友だちと久しぶりに会って近況報告などをしたり、手づくりのお弁当を食べて身も心もリフレッシュできました」といきいきと話をしてくれたおじいちゃん・おばあちゃん。ご苦労さまでした。



「ソレー！」とかけ声をかけながら



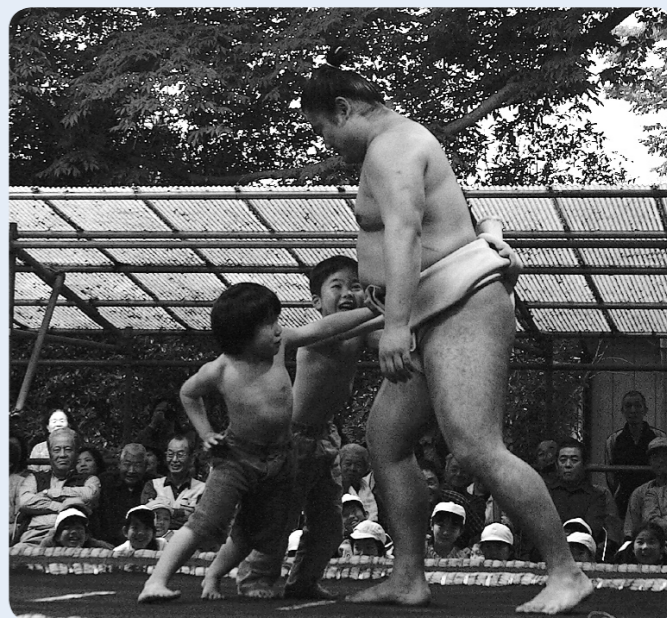
練習の成果が発揮できましたか

このほかにも市老人クラブ連合会では、高齢者がいきいきと豊かに暮らすために、ゲートボール大会、グラウンドゴルフ大会など年間をとおしてさまざまな活動をおこなう予定です。
結果は次のとおりです。
(敬称略 3位まで)

- | | | | |
|------|------------|-----|-----------|
| 大会成績 | 団体 | 優勝 | 宗道東Aチーム |
| | | 準優勝 | 皆葉Aチーム |
| | | 第3位 | 村岡Aチーム |
| | 個人の部(男子の部) | 優勝 | 稲子谷 栄(下栗) |
| | | 準優勝 | 高橋 政治(下栗) |
| | | 第3位 | 人見 茂(鎌庭) |
| | 個人の部(女子の部) | 優勝 | 高野 セツ(下栗) |
| | | 準優勝 | 高橋 フミ(鯨) |
| | | 第3位 | 青木美知子(鯨) |

高砂部屋が夏合宿

大宝八幡宮



“お相撲さんって強いなあ” お友だちといっしょにパワー全開!

6月13日から15日にかけて、毎年恒例の大相撲高砂部屋の夏合宿が大宝八幡宮（山内光洋宮司）でおこなわれました。

今年で5回目を迎える合宿稽古は、同八幡宮の節分祭に15年前から元大関朝潮の高砂親方が参加している縁で毎年おこなわれているものです。

今回の合宿稽古には、若松親方（元朝乃若）や佐ノ山親方（元朝乃翔）、幕内の朝赤龍、県内出身の男女ノ里（つくば市出身）、大子錦（大子町出身）、朝野澤（常総市石下出身）ら23人が参加。力士のみなさんは、八幡宮を参拝した後、若松親方の指導を受けながら土俵で先輩力士と後輩力士が思いっきりぶつかり合ったり、四股や摺り足、股割りなどの稽古に励み、たつぷりと汗を流しました。

また、市内の園児たちや愛宕園・ラポール下妻からの招待者など多くのみなさんが見学に訪れ、力強くぶつかり合いながら稽古をするお相撲さんの迫力に驚いていました。稽古の



先輩力士の胸をかりて猛練習



おいしい“ちゃんこ鍋”に舌つづみを打ちました

の迫力には弓取式を披露。また、裸になった園児たちが土俵にあがって、友だちといっしょに力を合わせて挑む体験もありました。園児たちは、なかなかできない体験にとっても満足していました。

稽古の後は力士特製の“ちゃんこ鍋”がふるまわれ、訪れた人たちはそろって“おいしい”と本場のちゃんこを堪能していました。

自らの交通安全を地域の力で

騰波ノ江地区高齢者交通安全教室

騰波ノ江地区の高齢者交通安全教室が、6月25日、騰波ノ江小学校体育館を会場におこなわれました。

交通安全協会騰波ノ江分会の役員さんたちの呼びかけで毎年開催され、今年も地域のみなさん約200名が参加しました。参加したお年寄りたちは、下妻警察署交通課長による交通講話や茨城県警本部の交通巡視員の腹話術など、和やかの中にも熱心に耳を傾けていました。交通安全終了後、アトラクションとして歌謡ショーやマンドリンの演奏などが披露されました。“毎年大変ですが、この地区から絶対事故を出さないためにもがんばります”と、主催した赤荻騰波ノ江分会長。参加された方も“毎年この行事がたのしみです”と参加記念品の反射タスキを身に付けて家路につきました。



交通講話を真剣に聞くおじいちゃん・おばあちゃん

やさしく、すくすく育ててね

さつまいも定植大会

梅雨に入った最初の日曜日の6月11日、さつまいも定植大会が、花と1万人の会主催でおこなわれました。花と1万人の会をはじめ、鎌庭地区のみなさんや花万ジュニアスタッフの子どもたち約100名が、1,500本のさつまいも苗を植えました。

ポピー畑をきれいに整地し、平らに張ったビニールの上に穴をあけ、1本1本やさしく植えられました。この日は、朝から雨が降り続き雨合羽を着ての作業となり、“あいにく



“すくすく育ててね”と雨の中のいも苗植え

の天気となりましたが、今年は植え方の手法も違うので、粒のそろったさつまいもがたくさん収穫できますよ。“と額に落ちた雨の雫を払いながら話をしてくれた参加者のみなさん。本当に雨のなかの作業ご苦労さまでした。

地元のスイカを給食に

宗道小学校



甘くておいしいスイカをシャリ・・・

6月21日、千代川地区の小・中学校の学校給食に、地元でとれたスイカが登場しました。地元でとれた農産物を地元で消費する地産地消の運動によるもので、生産農家の協力のもと、常総・下妻学校給食センター管内の小中学校にあわせて140個のスイカが配られました。

宗道小学校でも13個のスイカが各教室に運ばれました。大きなスイカが児童の手によって切られると、大きな歓声があがりました。“すごくシャリシャリしていて、甘くておいしい!”と給食のカレーなどを食べた後においしそうに頬張っていました。

”日本芸術院賞”受賞記念展覧会

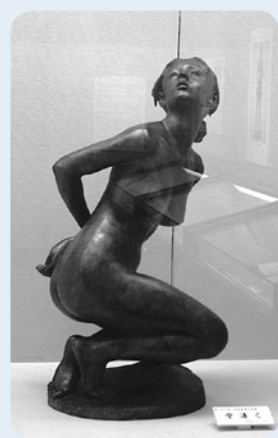
砂沼大橋「飛翔」の作者彫刻家市村緑郎展開催中

市教育委員会では、下妻市文化団体連絡協議会と共催で、本年日本芸術院賞を受賞された市内平川戸出身の彫刻家市村緑郎氏を紹介する展覧会「砂沼大橋「飛翔」の作者彫刻家市村緑郎展」をふるさと博物館において開催しています。本展では、第

35回日展で内閣総理大臣賞を受賞した「空遠く」など彫刻作品や直筆原稿など関連資料を展示しています。

また、8月6日（日）午後1時30分から市村緑郎氏の講演会を開催し

ます。本展の会期は8月27日（日）までとなっております。みなさまのご来館をお待ちしています。休館日など問い合わせ先は、市ふるさと博物館 ☎44・7111まで。



展示中の作品「空遠く」

防犯ブザーを寄贈

出番がないことを祈って



犯罪を防ぐため下妻市千代川建設業協会より寄贈

下妻市千代川建設業協会より千代川中学校に対し、また常陽銀行より市内の小学校に防犯ブザーが寄贈されました。ブザーの大音量は、もしものときに周囲の大人に危険を知らせ、相手を威嚇することにより、不審者による声かけ、連れ去りなどの犯罪を防ぐ効果があります。

通学途中の児童生徒の安全を守り、ひとりで出かけるときなどにも必ず携帯し、活用して欲しいとの願いが込められ寄贈されたものです。ありがとうございます。

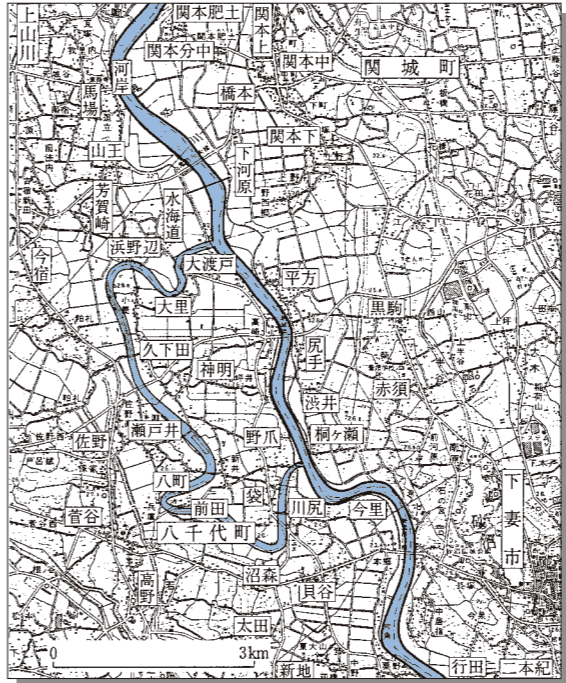
新下妻市の歴史再発見

Vol. 7

古代の河川改修

かつて「毛野川(河)」と呼ばれた鬼怒川は、今から千二百年以上も前の奈良時代に大規模な改修工事が行われています。「続日本紀」という奈良時代の歴史書に、神護景雲2年(768)、下総国結

城郡小塩郷小嶋村から常陸国新治郡川曲郷受津村までの一千丈余り(約3キロメートル)に及ぶ毛野川の改修が行われたことが記されているのです。この小嶋村は現在の結城市水海道・八千代町大渡戸周辺に、受津村は下妻市桐ヶ瀬・赤須周辺に推定されています。



奈良時代の鬼怒川改修箇所
(『村史 千代川村生活史』第5巻より)

ます。つまりこれらの区間の鬼怒川は人工的に開削された河川だということになります。この改修工事は下総国側からの嘆願によって実現したものでしたが、自国内を新川が通過し、開削地内には神社や民家、そして広大な耕地があった常陸国側は当初反対していました。そのため、河道改修によって常陸・下総の国境は変更されることなく改修前の旧河道のままとされ、常陸国に配慮されることとなりました。ちなみにこの名残は昭和期までみられ、現在の八千代町川西地区(旧川西村)は、合併して結城郡八千代町となるまでは真壁郡(旧常陸国)でした。

小貝川について

奈良時代には鬼怒川と小貝川が糸繰川を介してつながっていたことは前号で紹介しました。そしてこれらの河川が「毛野河」であり、常陸・下



子飼の渡し推定地(小貝川愛国橋周辺)

総の国境となっていました。つまり、「小貝川」という名称の河川は奈良時代にはまだ存在しなかったようです。

小貝川に関する記録の初見は平安時代に起った平将門の乱を記した『将門記』で、「子飼之渡」が登場します。子飼の渡しは、市内大園木とつくば市吉沼間に架かる愛国橋周辺に推定されています。

この『将門記』の記事から、少なくとも乱の起った10世紀前半代には現在の小貝川が「子飼川」と呼ばれるようになったと考えられています。

裏を返せば、この頃までに現在の鬼怒川流路の原形ができあがったと考えられるのです。この「毛野川流路の西遷」と「子飼川の成立」は当地域の古代の環境を考える上で重要なポイントです。これらわめて重要といえます。これらの河川の変遷には先述の毛野川改修工事(シヨートカット)による急流化の影響が想定でき、また古代の湖沼「騰波ノ江(鳥羽淡海)」の枯渇なども関係していると考えられます。

先ごろ発掘調査された小貝川沿いの微高地に立地する大堀東遺跡(樋橋)のような低地遺跡の存在は河川変遷を探る上で有益な情報を提供してくれるでしょう。

(生涯学習課文化係)

お詫びと訂正

前回、「長塚橋」とした鬼怒川に架かる橋の名称は通称であり、正式には「鬼怒川橋」(旧||鬼怒川橋、新||新鬼怒川橋)ですので、お詫びして訂正いたします。

市民文芸

俳句

白樺の林の夜明けほととぎす 塚田三樹子(下妻丁)
葉桜やケーブルカーの十五分 神郡 貢(高道祖)
梅雨寒やせめて明るき傘の色 染野 清平(皆葉)

短歌

足もとも水田も温め太陽のゆらゆらかけをうつす早苗田 伊東 豊乃(加養)
貰い乳して育てたとよく口癖に言いし母逝き十年を経つ 稲葉 節子(加養)

友の歌集の「白百合の花」賜りて胸ときめかしページ繰りゆく 桜井 英子(谷田部)
桃の節句に産まれし曾孫笑顔よく常に我家の人気者なり 諏訪 文子(下妻丁)
雨にぬれて横断ラインの白き上に傘ゆれ動く朝の通学路 中久喜 和(下妻乙)
雨あがりに通る里山の小暗きに石の佛がほほゑみ坐す 谷田部くら(赤須)

病みてなほ種時く準備指図する老いたる農夫言葉やさしき 斎藤 七郎(小島)
園児服小さくなりて孫の背に年長組となりし落ち着き 坂井 勝美(五箇)
花ちらしの雨は無情に冷たくて乃木將軍まつるみ社けむる 鈴木 澄江(宗道)

ふるさと博物館収蔵資料紹介③ 『下妻市の文化』創刊号

本資料は、下妻市文化団体連絡協議会(小島亮会長)が、年に一度発行している『下妻の文化』の創刊号です。同協議会は、今年で創立32年目を迎え、加盟団体数68団体、会員数は延べ2300人平成17年度)を誇る県内有数の文化団体です。『下妻の文化』も今年で実に31号を数えます。随筆や短歌など、文化に関する記事をテーマに毎号多くの方が寄稿されています。また、名誉会員の作品写真や、その年に行われた加盟団体の文化活動の記録などが掲載され、『下妻の文化』はその名の通り下妻の文化が凝縮された総合文芸誌となっております。

加えて、特筆すべき点は、本資料が発刊された昭和51年から本年まで一度も途切れることなく発行されているということです。30年も継続され出版されている総合文芸誌の存在は県内でも非常に稀で、編集されている方々の熱心さや苦勞が伺えます。長引く景気の低迷から、文化よりも経済が優先される時代となっております。そのような中で文化都市下妻の足跡を次の世代へ伝えていくうえで、『下妻の文化』の果たす役割は大変重要であると考えます。



温かい善意

ありがとうございます

千代川ライオンズクラブ(会長 澤谷稿さん)から、市の福祉事業に役立ててほしいと、31,054円の寄付をいただきました。

この寄付金は、6月11日、千代川ライオンズクラブ主催による第6回民謡の集いがおこなわれ、その会場でチャリティ募金が寄付されたものです。



口頭詩

子どもの純粋な心のつぶやき

じゃんけん
たかはし しゅんや
4歳(弘徳保育園)



ザリガニ
あいこでしよしたんだ
ぼく
ぐう だしてかつたよ

【解説】 帰りのバスで言った言葉です。ザリガニとじゃんけんしたことを言いたかった様ですが「あいこでしよ」と言いながらザリガニの姿を想像すると、とても可愛いなと思えました。採集 寺田久美子 わらべうた・あそびランド くさぶえ28集より

7月です。梅雨が終われば夏本番です。昨年は猛暑でしたね。あの暑さに苦しめられた方もたくさんいらっしゃると思います。ちなみに去年の下妻市の最高気温は7月は33.6度、8月は34.6度でした。真夏日でみると7月は12日間、8月は23日間ありました。今年はどうな夏になるのでしょうか。今年の気象庁による7、8月は気温・降水量ともに平年並みとの予想ですが・・・。

気をつけたい夏の病気

特に気をつけたい夏の病気の予防法をご紹介します。

食中毒
食中毒は各種細菌およびそれから放出される毒素によって引き起こされます。気温が高くなり食材の中で菌が繁殖しやすい5～10月の半年に発生が増えます。主な症状は腹痛・下痢・嘔吐などで、中には発熱や血便を伴うこともあります。このような症状があればできるだけ早く近くの医療機関を受診しましょう。

予 防 法 実践しよう！3原則

- ①つけない
手はしっかり洗う。生野菜もよく洗う
- ②ふやさない
魚肉などの生ものではできるだけ新鮮なうちに食べる。作った料理は早めに食べきる。(残ったら冷蔵庫に保存しましょう。でもあまり過信しないように！)
- ③消滅させる
加熱調理をする。台所用品もよく洗い、清潔に。

ちよつと
健康一言
暑い夏を乗り切ろう

熱中症
高温多湿の環境で起こる病態の総称で、軽いものから命に関わるものまでさまざまです。一般に高温多湿下で過激な運動時や、子ども、高齢者に起こりやすいと言われています。

主な症状は、足のけいれん、失神(数秒間程度)、めまい、顔色が悪い、呼吸数が増えるなどです。このときは涼しい場所に移動し、水分を補給し、冷たい水でぬぐい横になりましょう。また、しばらく横になっても回復しない、頭痛、吐き気、嘔吐、皮膚が異常に熱い、意識がもうろうとしている、呼吸が速い状態が続くときはすぐに医療機関を受診しましょう。

予 防 法

- 暑い日中の外出は避ける
- 水分をまめにとる
- いつも行っている運動でも体調も悪いときは無理しない

暮らしに涼をとり入れてみましょう

たとえば、カーテンの色を変える、日よけにすだれを試してみる、食器を透明感のある物にしてみる、冷たいおしぼりを冷蔵庫に常備しておく・・・など工夫してみましょう。

消費生活情報

高齢者や判断不十分者をターゲットとし、無料点検から危険と不安を装い高額な契約をさせるケースが増えています。高齢者等の場合、その後の生活ができなくなるほどの被害にあうこともあります。そのほとんどが訪問販売によるものです。被害を防ぐには日頃から近所の見守りが大切です。必要ない契約をさせられたら1人で悩まずに早く誰かに相談することです。今回はその事例を紹介します。

相談事例

一人暮らしの姉が、1年前に床下調湿剤を訪問販売で契約した。最近アフターサービスと称し、再び訪問し床下補強工事を2度契約した。終了後、屋根裏の補強工事も勧められ契約し工事も済んでいる。さらに、屋根補修工事も勧められ契約したようで工事が始まっている。これは、今問題になっている高齢者を狙ったリフォーム工事と同じやり方である。契約金も250万円と高額のためにどうか対処をしていただきたい。

相談結果

契約書を確認すると、屋根裏工事と屋根補修工事は契約から8日以内だったのでクーリング・オフの書面を提出し、無条件解約となりました。
※住宅の補修工事は十分な調査をしないと効果のある補修にはなりません。訪問販売で契約するような工事ではありません。不審に思ったらはっきり断ることが大切です。

相談室の窓から
“無料”という甘い言葉に注意しましょう

ポイント

クーリング・オフについては、電話のみならず、書面、口頭でも有効です。書面などで証拠を残すなどの対策をすることをお勧めいたします。但し、取引内容等によって、クーリング・オフの期間が異なります。(下記参照)

訪問販売(キャッチセールス・アポイントメントセールス等)	8日間
電話勧誘販売	8日間
マルチ商法	20日間
特定継続的役務(エステティックサロン、語学教室、家庭教師、学習塾、パソコン教室等)	8日間
業務提供誘引販売(内職商法、モニター商法)	20日間

※瓦屋根診断については・・・茨城県瓦屋根診断技士会において偶数月の毎月8日において、屋根診断を無料で行なっています。それ以外の日は有料になります。(要予約)

消費生活に関するお問い合わせは
茨城県消費生活センター筑西分室 ☎24-2211 内線218
商工観光課商工係(千代川庁舎) ☎43-2111(代)
茨城県瓦屋根診断技士会 ☎0296-72-0843



平成17年度



株式会社 ふれあい下妻の経営状況

株式会社ふれあい下妻の平成17年4月1日から18年3月31日までの経営状況(第8期)が公表されましたので、お知らせします。

原油高にともなう灯油の値上がり、温泉ポンプをはじめ、経年による設備の修理、修繕費がかさみ、前年並の一般管理費となり、経常利益は、前年比1千百万円増加の3千2百万円となりました。

飲食部門のレストランでは、地元食材、季節の食材を使った手づくり料理を提供、そばうちめいじん亭では、要望の多かったメニューの追加や手打ちそばの実演販売を行い、前年並みの売上を確保しました。また、地域の情報発信基地としての秋の収穫祭(9月)や新そば祭り(11月)を開催し、地場産物のPRを行いました。

物販部門の農産物直売所では、出荷組合員の売上が増加するなど、地場野菜が充実、利用者が増加しましたが、観光物産館では、団体客の減少などにより売上が減少しました。

道の駅しもつま

利用者数は、前年比2万8千人減少の76万4千人、売上高は1千8百万円減少の6億6千百万円となりました。

ビアスパークしもつま
情報誌等に広告を掲載し、積極的にPRを行いました。積極的にPRを行いました。売上高は前年比2百万円減少の4億3千8百万円となりました。

ホテルは、スポーツチームの合宿などの利用により宿泊者が増加しましたが、売上高はやや減少、温泉館の入場者数は、前年比7百人増の20万7千人となり、本年の1月に150万人を達成しました。

レストランは、週替りランチ、季節メニューの充実やクリスマスバイキングにより、売上が増加しましたが、地ビールは、第3のビールの台頭などにより出荷量が伸び悩みました。

直売所は、新鮮野菜を充実し、前年並みの売上を確保、2年目を迎えたバーベキュー施設は、大変好評でした。また、体験農園では、いも、ぶどう、なしを中心に多くの利用がありました。

売上割戻し金1,906万円
入湯税2,162万円を
下妻市に納付

売上割戻し金とは、(株)ふれあい下妻の施設利用による受益の割戻し

ふれあい下妻の経営状況推移

	平成15年度	平成16年度	平成17年度	前期比増減	前期比
売上高	11億 787万円	11億1,911万円	10億9,884万円	△2,027万円	98.2%
(道の駅)	6億6,487万円	6億7,933万円	6億6,094万円	△1,839万円	97.3%
(ビアスパーク)	4億4,300万円	4億3,978万円	4億3,791万円	△187万円	99.6%
温泉入場者	22万2,080人	20万6,800人	20万7,470人	670人	100.3%
道の駅利用者	78万9,320人	79万2,420人	76万3,990人	△28,430人	96.4%
税引前当期利益	3,017万円	2,108万円	2,706万円	598万円	128.4%

し金で、売上高に同じ、平成17年度分として1,906万円が下妻市に納付されています。また、入湯税についても2,162万円が市に納付されています。

わがやのにんぎもの

*このコーナーに掲載をご希望の方は、
秘書課広報聴係（内線 1212）にご連絡ください。



とらのすけ
鳩貝虎之助ちゃん(南原)
～博由・智子さんの長男～

お外で遊ぶことが大好きな、
とってもおしゃべりで好奇心旺盛な男の子です。マイペースでもいい、何事もあきらめずにかんばれる、そんな子になってね。虎がいてくれるだけで、家族みんなが笑顔になれる、鳩貝家の大切な宝物です。



りりか
山崎琳々香ちゃん(高道祖)
～洋一・裕子さんの長女～

明るく活発で少しおてんばさん。この頃は、お話も上手になり“大きくなったらママに太陽かってあげるね”なんて頼もしいことを言ってくれる。みんなの愛情をいっぱい受けて思いやりのある子に育ってね。



しょうた
飯島笙太ちゃん(田下)
～修・照子さんの次男～

とてもきかんぼうな我家の次男坊はいつもお兄ちゃんにちょっかいを出しては、最後は泣いてママのところにやってきます。本当はお兄ちゃんが大好きなのに…。少しくらいやんちゃでもいいからお兄ちゃんのように元気で思いやりのある子に育ってほしいと思います。

さわやかワレ-

～わたしからあなたへ～

VOL. 7

前月登場の落合憲子さんからの紹介



輝く未来

木村祐子さん(大園木)

下妻市に住み、十数年の月日が流れた。会社と家との往復の日々に、待望のわが子を授かりました。子どもが幼稚園に入ってから2年目にPTAの役員をさせて頂いていただきました。役員というとみなさん敬遠したくなると思いますが、私もそうでした。でも数ヶ月を過ぎる頃には、慣れた次の役員会が楽しみに変わりました。特に役員会後の昼食は必ず参加しました。それが一番、みなさんと親しくなれる場所だと思います。みんなで盛り上が

り、お迎え時間がギリギリになることもありました。もちろん各行事もキチンとこなし、無事役員会を終えました。役員会で出逢った友達と今も続いています。友達を通して知り合った友達もみな、楽しい友達です。同じものを“おいしいね。一緒にいる時間が楽しい”と思う仲間、生涯の友であると私は思います。仲間とともに楽しい未来が待っています。もつと広げよう。友達の輪“そう思う毎日です”。

広報しもつま平成18年7月号

発行/下妻市総務部秘書課(〒304-8501 茨城県下妻市本城町2丁目22番地) TEL0296-43-2111

Eメール info@city.shimotsuma.lg.jp

下妻市ホームページ www.city.shimotsuma.lg.jp

R100

古紙配合率100%再生紙を使用しています